

普及活動情勢報告（平成27年4月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

土佐文旦人工受粉用の花粉をチェック ～花粉の発芽試験を実施～



花粉を置床するJA営農指導員

県下一の栽培面積を誇る土佐市の土佐文旦園では、5月上旬より花が咲き始め、着果安定のために受粉作業が始まります。受粉には主に小夏の花粉が利用されており、生産者は、前年に採取し冷凍貯蔵していた花粉や、今年採取した花粉を使用しています。

農業振興センターとJA土佐市では、4月中旬より、花粉の発芽試験を実施しています。試験は、花粉を寒天培地に置床し、25℃で約24時間経ってから、発芽率を調査しています。

生産者は、調査結果を基にして、使用する花粉を調整しており、着果安定の第一歩として、発芽試験は重要な役割を担っています。

吾北流おもてなし 春の花まつり開催 ～吾北地区農漁村女性グループ研究会の活動～



4月5日、吾北地区農漁村女性グループ研究会は、郷土料理の提供と伝承を目的に「吾北流おもてなし 春の花まつり」を開催しました。農業振興センターは、準備段階から関わり、アンケート調査等への支援を行いました。

多くの参加者から料理や山菜の処理の仕方などの質問があり、グループ員は料理の提供の合間に丁寧に対応しました。アンケートには「是非この活動を長く続けて欲しい」というコメントも多く、今後への期待が伺えました。

今後も地元直販所等とも連携し、地域の活性化につながる活動として関係機関とともに支援していきます。

ニラ定植前講習会の開催 ～吾北地区ニラ生産者の栽培安定に向けて～



昨年の定植状況
(上東通信第15号より)

4月3日、吾北地区のニラ栽培者を対象に、JAコスモス吾北支所と農業振興センターが、定植前講習会を開催しました。

講習会では、ニラの栽培履歴と病虫害防除基準の説明の後、昨年の巡回結果をもとにした気象や病虫害の発生について説明を行いました。生産者からは昨年の各自のほ場を振り返り、病虫害の発生等の仕組みや防除薬剤について積極的な質問がありました。

今後も農協と連携し巡回等を行い、目標収量を達成できるように支援していきます。

栽培技術で悪天候を乗り越えよう！！
～ J A とさしキュウリ部会現地検討会～



生育状況を確認する参加者

J A とさしキュウリ部会は4月7、23日に種苗会社との現地検討会を行いました。

種苗会社担当者から新たに導入された品種の特性や栽培上の注意点を聞いた後、J A 担当者が4月の環境に応じた栽培管理技術を説明し、農業振興センターからは病虫害対策についての情報提供を行いました。参加者は、曇雨天が続く中での樹勢管理に必要な土壌水分の把握方法など、技術の改善に向けて熱心に意見交換していました。

農業振興センターでは、次作に向け、反省会等で土づくりや初期の灌水管理等の基本技術を徹底することで、悪天候でも影響の出にくい樹づくりをすすめ、キュウリ部会の収量アップにつなげたいと考えています。